

学校推薦型選抜

公募制推薦入試(前期・後期)

※ P.7～「Ⅱ.共通事項」を必ず確認してください。

1 出願資格

《文学部・教育学部・人間社会学部》

以下のいずれかに該当する者で、出身学校長の推薦があるもの。

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、および令和7年3月卒業見込みの者。
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、および令和7年3月修了見込みの者。
3. 学校教育法施行規則第150条第7号により、朝鮮高級学校を令和7年3月修了見込みの者。

《薬学部》

以下のいずれかに該当する者で、出身学校長の推薦があるもの。

1. 高等学校もしくは中等教育学校を令和6年3月に卒業した者、および令和7年3月卒業見込みの者。
2. 学校教育法施行規則第150条第7号により、朝鮮高級学校を令和6年3月以降修了した者、および令和7年3月修了見込みの者。

※ 調査書における全体の学習成績の状況については基準を設けておりません。

※ 他大学との併願も可能です。

2 募集人員

学部	学科	前期	後期
文学部	日本語日本文学科	8名	4名
	歴史文化学科	8名	4名
教育学部	教育学科	26名	12名
人間社会学部	人間社会学科	8名	4名
	心理・福祉学科	8名	6名
	スポーツ健康学科	14名	6名
薬学部	薬学科	20名	10名

※ 前期の募集人員は、A日程とB日程を合算した人数となります。

3 入試日程

試験日		試験会場	出願期間	合格発表日	第1次入学手続 (入学金)	第2次入学手続 (授業料等・書類)
前期	A日程 令和6年 11月2日(土)	本学・静岡 金沢・名古屋 京都・和歌山 神戸・岡山 広島・高松 福岡	令和6年 10月11日(金)～ 10月22日(火) (出願書類は締切日消印有効)	令和6年 11月12日(火)	令和6年 11月12日(火)～ 11月29日(金)	令和6年 11月12日(火)～ 12月19日(木)
	B日程 令和6年 11月3日(日)				本学・京都 和歌山・神戸	
後期	令和6年 12月7日(土)	本学・名古屋 京都・和歌山 神戸・岡山 高松	令和6年 11月11日(月)～ 11月25日(月) (出願書類は締切日消印有効)	令和6年 12月17日(火)	令和6年 12月17日(火)～ 12月23日(月)	令和6年 12月17日(火)～ 令和7年 1月16日(木)

※公募制推薦入試(前期(A・B日程))は、各日程のどちらか、または両日程を選択して受験することができます。

※公募制推薦入試(前期(A・B日程))は、入学検定料(30,000円)で2日間受験可能です。

(注) 試験会場についてはP.39～41「試験会場一覧」を確認してください。

4 試験科目

○前期・後期とも共通の試験科目です。「国語」「化学」は記述式、「英語」はマークシート式、「体育」は実技試験で行います。

○本学が合否判定に使用する試験科目・科目数を受験していない者は、合否判定の対象となりませんので、欠席者として扱います。

学 部	試験科目	試験科目	時 間
文学部	英語・国語	英語 英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	10:00～11:00 (60分)
教育学部	英語・国語	化学 化学基礎、化学	11:30～12:30 (60分)
人間社会学部	英語・国語・体育	国語 現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語	
薬学部	英語・化学	体育 実技	13:30～15:30 (120分)

- 〈注〉 ①「英語」の試験問題は全学部・学科共通です。
 ②「国語」の試験問題は文学部・教育学部・人間社会学部の3学部6学科共通です。
 ③「国語」(現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語)はいずれも「古典(古文・漢文)」を除きます。
 ④「化学」(化学基礎・化学)は「高分子化合物」に関する内容を除きます。
 ⑤「体育」を選択した場合、試験会場は本学のみとなり、学外試験会場では実施しません。試験時間は受験者数により短縮する場合があります。
 試験内容については、入試ガイドP.27『入試攻略』を参照してください。
 また、試験当日は、体操着(ジャージ類)と室内用運動靴を持参してください。
 ⑥合格最低点は、学科内の第1志望合格と第2志望合格で異なる場合があります。
 ※ 選択する科目により、試験開始時間が異なります。

5 選考方法

前期〈A日程〉・後期

○学力試験の成績と調査書の全体の学習成績の状況を点数化した合計点によって合否を判定します。

○文学部・教育学部・人間社会学部では、1科目型と2科目型の判定方式を選択できます。

※前期(A日程)における入学試験成績優秀特別奨学金制度(給付)は、文学部・教育学部・人間社会学部で選考方法(対象となる判定方式・試験科目)を定めています。詳細はP.19をご確認ください。

〈文学部・教育学部・人間社会学部〉

1科目を受験した場合	選択した科目 100点	+	調査書 15点 <small>全体の学習成績の状況×3</small>	=	合計 115点	合否判定	
2科目を受験をした場合 (最大3パターンで判定します)	パターン1 選択した科目A 100点	+	調査書 15点 <small>全体の学習成績の状況×3</small>	=	合計 115点	合否判定	
	パターン2 選択した科目B 100点	+	調査書 15点 <small>全体の学習成績の状況×3</small>	=	合計 115点	合否判定	
	パターン3 選択した科目A 100点	+	選択した科目B 100点	+	調査書 30点 <small>全体の学習成績の状況×6</small>	=	合計 230点

〈薬学部〉

2科目受験	英語 100点	+	化学 150点	+	調査書 50点 <small>全体の学習成績の状況×10</small>	=	合計 300点	合否判定
-------	------------	---	------------	---	--	---	------------	------

■ 科目の組合せ例

学 部	2科目選択パターン
文学部・教育学部	英語・国語
人間社会学部	英語・国語
	英語・体育
	国語・体育

※人間社会学部では3科目のうち、最大2科目選択できます。

前期〈B日程〉

○学力試験の成績と調査書の全体の学習成績の状況を点数化したものに、文学部・教育学部・人間社会学部では活動・資格検定を一律評価した点数を加えた合計点によって合否を判定します。

○文学部・教育学部・人間社会学部では、1科目型と2科目型の判定方式を選択できます。

〈文学部・教育学部・人間社会学部〉

1科目を受験した場合	選択した科目 100点	+	調査書 15点 <small>全体の学習成績の状況×3</small>	+	活動・資格検定評価 10点	=	合計 125点	合否判定	
2科目を受験をした場合 (最大3パターンで判定します)	パターン1 選択した科目A 100点	+	調査書 15点 <small>全体の学習成績の状況×3</small>	+	活動・資格検定評価 10点	=	合計 125点	合否判定	
	パターン2 選択した科目B 100点	+	調査書 15点 <small>全体の学習成績の状況×3</small>	+	活動・資格検定評価 10点	=	合計 125点	合否判定	
	パターン3 選択した科目A 100点	+	選択した科目B 100点	+	調査書 30点 <small>全体の学習成績の状況×6</small>	+	活動・資格検定評価 10点	=	合計 240点

〈薬学部〉

2科目受験	英語 100点	+	化学 150点	+	調査書 50点 <small>全体の学習成績の状況×10</small>	=	合計 300点	合否判定
-------	------------	---	------------	---	--	---	------------	------

■ 科目の組合せ例

学 部	2科目選択パターン
文学部・教育学部	英語・国語
人間社会学部	英語・国語
	英語・体育
	国語・体育

※人間社会学部では3科目のうち、最大2科目選択できます。

6 公募制推薦入試（前期〈A日程〉・後期）の第2志望制度【対象：文学部・教育学部・人間社会学部】

第1志望の学科が不合格となった場合に限り、第2志望制度を利用し改めて合否判定を行います。

(出願の際、第2志望を希望した者のみ対象)

人間社会学部で「体育」での1科目判定および「体育」を含む2科目判定の受験生は第2志望として他学部に出願することはできません。

7 公募制推薦入試（前期〈B日程〉）の活動・資格検定評価制度【対象：文学部・教育学部・人間社会学部】

主体的な取り組みを評価する制度です。別表(P.26)の基準以上の活動・資格検定について評価します。配点は1科目判定と2科目判定のいずれも10点となります。該当する活動・資格検定がない場合も受験できます。

- ① 文学部・教育学部・人間社会学部対象
- ② 活動については、高等学校での活動に限ります。
- ③ 資格検定については、取得年月日を問いません。

8 出願手続 インターネット上での出願登録 → 入学検定料支払 → 出願書類の送付 → 出願完了

操作手順や支払方法の詳細は P.11～15 を参照してください。

出願登録

▼ 出願は第1・第2志望それぞれ1学科のみに限ります。

インターネット出願トップページから、出願する入試区分の「出願する」を選択し、画面の案内に従い、必要項目を入力してください。

インターネット出願の登録は出願締切日の23時までに行ってください。

入学検定料

30,000円

入学検定料の納入は、出願締切日の23時59分までに完了してください。

注) 出願登録されたデータは、入学検定料の納入期限までは保持されますが、支払いがされないまま上記の期限を過ぎると無効になります。

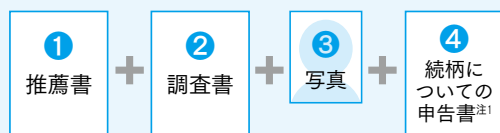
出願書類

▼ 次の書類一式を本冊子に同封の送付用封筒に入れ、「簡易書留・速達」で出願期間内（締切日消印有効）に郵便局窓口から郵送してください。

〈送付先〉〒539-8691 日本郵便 新大阪郵便局留
大阪大谷大学 入試・広報課

送付用封筒は市販の封筒でも結構です。P.14 ⑤
出願書類の郵送 ②をご確認ください。

公募制推薦入試(前期<A日程>・後期)



公募制推薦入試(前期<B日程>)



注1: 入学学金半額免除制度【同窓割引】を申請する者のみ必要です。

注2: 公募制推薦入試(前期<B日程>)で活動・資格検定評価制度を利用する者のみ必要です。

(1) 推薦書

本冊子に綴込みの「推薦書」(本学所定の用紙)を用い、出身学校長が証明したものを提出してください。厳封は不要ですが、出身学校で厳封されている場合はそのまま提出してください。

※「推薦書」用紙は、インターネット出願画面からもダウンロードが可能です。

(2) 調査書

文部科学省所定の様式により、学習成績の状況等を必ず記入して、出身学校長が出願前3ヶ月以内に作成し、厳封したものを提出してください。なお、被災などにより調査書の交付を受けられない場合はこれに代わる証明書を提出してください。

(3) 写真

出願前3ヶ月以内に撮影した写真1枚[上半身正面、無帽(髪などで顔の一部が隠れ、本人と判別しにくい写真は不可)。縦4.0cm×横3.0cm]。試験当日に眼鏡をかけて受験する場合は、眼鏡をかけて撮影してください。なお、提出の際は、写真裏面に氏名を記入してください。

※台紙等に貼付する必要はありません。

※提出された写真は受験時の本人確認に使用します。

(4) 続柄についての申告書

本冊子に綴込みの「続柄についての申告書」(本学所定の用紙)を用い、提出してください。

※「続柄についての申告書」用紙は、インターネット出願画面からもダウンロードが可能です。

(5) 活動・資格検定の証明書

下表に記載している資格(スコア)の取得を証明する書類(コピー可)を提出してください。

また、スポーツ成績の地方大会出場を証明する書類は、参加を確認できる地方大会のパンフレット・掲載された新聞(メンバー表含む)のコピーを提出してください。

活動・資格検定	認定	日本語 日本文学科	歴史文化 学科	教育学科	人間社会 学科	心理・ 福祉学科	スポーツ 健康学科	主催団体
スポーツ成績	地方大会出場*						●	
実用英語技能検定	準2級	●	●	●	●	●	●	(財)日本英語検定協会
全商英語検定	1級			●				(財)全国商業高等学校協会
TOEIC®(L&R)	400点	●	●	●	●	●	●	(財)国際ビジネスコミュニケーション協会
国連英語検定	D級			●				(財)日本国際連合協会
日商ビジネス英語検定	3級			●				日本商工会議所
リスニング英語検定	1級			●				(社)全国工業高等学校長協会
技術英語能力検定	2級			●				(社)日本技術英語協会
実用フランス語技能検定	4級		● (3級以上)	●				(財)フランス語教育振興協会
ドイツ語技能検定	4級		● (3級以上)	●				(財)ドイツ語学文学振興会
日本漢字能力検定	準2級	● (2級以上)	●	●			●	(財)日本漢字能力検定協会
文章読解・作成能力検定	準2級	● (2級以上)		●			●	(財)日本漢字能力検定協会
日本語検定	2級	●	●	●			●	(特非)日本語検定委員会
中国語検定	3級	●	●	●				(財)日本中国語検定協会
漢語水平考試(HSK)	4級	●	●	●				国家中国語能力検定試験委員会
韓国語能力試験(TOPIK)	3級	●	●	●				(財)韓国教育財団
ハングル能力検定	3級	●	●	● (準2級以上)				(特非)ハングル能力検定協会
毛筆書写技能検定	2級	●	●	●			●	(財)日本書写技能検定協会
硬筆書写技能検定	2級	●	●	●			●	(財)日本書写技能検定協会
全日本高等学校書道コンクール入賞者	佳作	●						全日本書道教育振興協会
全国高等学校総合文化祭(書道部門)	出場者	●						(社)全国高等学校文化連盟
日商PC検定	いずれかの部門 で2級以上			●	●	●	●	日本商工会議所
簿記検定	3級		●	●	●		●	日本商工会議所
簿記実務検定	2級		●	●	●			(財)全国商業高等学校協会
簿記能力検定	2級		●	●				(社)全国経理教育協会
珠算能力検定	1級			●				日本商工会議所
実用数学技能検定	準1級			●	●	●		(財)日本数学検定協会
情報処理検定	2級 (いずれかの分野でも可)	●	●	●	●	●	●	(財)全国商業高等学校協会
ビジネス実務マナー検定	2級			●				(財)実務技能検定協会
ビジネス文書検定	2級			●				(財)実務技能検定協会
情報技術検定	2級		●	●	●	●		(社)全国工業高等学校長協会
情報処理技術者試験各種	合格	●		●	●	●		(独)情報処理推進機構
P検	2級				●	●		ICTプロフィシエンシー検定協会
Microsoft Office Specialist(MOS)	WordまたはExcel のエキスパート				●	●	●	マイクロソフト
パソコン利用技術検定	1級		●	●				(社)全国工業高等学校長協会
計算技術検定	2級		●	●	●	●		(社)全国工業高等学校長協会
商業経済検定	2級			●				(財)全国商業高等学校協会
介護福祉士資格	国家試験受験 資格を含む					●	●	(財)社会福祉振興・試験センター
介護福祉士実務者研修修了						●		(財)社会福祉振興・試験センター
介護職員初任者研修	訪問介護員2級研 修修了以上を含む			●		●	●	都道府県の委託または指定団体
福祉住環境コーディネーター	3級以上					●		東京商工会議所
心理学検定	2級					●	●	(社)日本心理学諸学会連合
ピアノ演奏グレード (ヤマハ、カワイ、ローランド)	7級			●				(財)ヤマハ音楽振興会、 カワイグレード認定委員会、 ローランド(株)
電子オルガン演奏グレード (ヤマハ、カワイ、ローランド)	6級			●				(財)ヤマハ音楽振興会、 カワイグレード認定委員会、 ローランド(株)
保育技術検定	2級			●				(財)全国高等学校家庭科教育振興会
ニュース時事能力検定試験	3級				●			(特非)日本ニュース時事能力検定協会
競技団体公認審判資格							●	

※地方大会に該当する規模

北海道地区/東北地区/北信越地区/関東地区/東海地区/近畿(関西)地区/中国地区/四国地区/九州地区(各地区の複数都道府県を含む大会(北海道のみ単独))